

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目区分	科目名	単位数	担当教員	実務経験	授業の概要(実務経験を活かしてどのような授業を行うか) ※詳細についてはシラバスをご確認ください。
1	教養科目	情報数学入門	2	野村 松信	IT企業勤務(ソフトウェア開発)	情報処理技術・ソフトウェアの背景にある原理やその基礎となる数学的知識を身につける。
2		プログラミング入門	2	野村 松信	IT企業勤務(ソフトウェア開発)	Java言語によりプログラミングを通じ、コンピュータソフトウェアの動作原理を理解し、プログラムを作成する能力を身につける。
3		プログラミング演習基礎	2	野村 松信	IT企業勤務(ソフトウェア開発)	Java言語によりプログラミングを通じ、コンピュータソフトウェアの動作原理を理解し、プログラムを作成する能力を身につける。
4	キャリア教育科目	学外実習(インターンシップ1)	1	キャリアセンター教員、 受入企業		自らの将来のキャリアに関連した企業の就労体験や、希望する業種の実務体験を通して、卒業後の進路をより具体的に描けるようになることを目標とする。
5		学外実習(インターンシップ2)	2	キャリアセンター教員、 受入企業		自らの将来のキャリアに関連した企業の就労体験や、希望する業種の実務体験を通して、卒業後の進路をより具体的に描けるようになることを目標とする。
6		キャリアデザイン1	2	キャリアセンター教員、 起業家ほか	※多様な企業等から外部講師を招へいする	自分の経験や人生観を念頭におきながら自ら進路を設計することを「キャリアデザイン」と解釈し、社会が求める人材、業界・職種を理解し、キャリアデザインの基礎知識を習得する。実務専門家等による講義を含む。
7		キャリアデザイン2	2	キャリアセンター教員、 起業家ほか	※多様な企業等から外部講師を招へいする	自己の適正理解から就職活動の方法を模索・検証し、具体的な行動をとるために、即実践に結びつく内容とする。実務専門家等による講義も含まれる。
8	専門共通科目 導入科目	工芸演習A(教職課程)	2	尾澤 勇	美術科教員(中学・高校) 工芸科教員(高校)	学校の現場で用いられている「金属」を使った作品の制作を通して、教職に必要な基礎的な技能や授業開発の基礎を身につける。
9	専門共通科目 専門基礎科目	ものづくり作図演習	2	今中 隆介	デザイナー(インテリア、ファニチャー、プロダクト)	三次元立体を二次元の図面として表現し、第三者に対して正確に情報を伝える力、図面を読み取る力を修得する。
10		イラストレーション演習	2	坂本 祥世	漫画家	イラストレーション制作を、与えられたテーマの擬人化キャラクターを造型する課題制作を通して学ぶ。
11		シルクスクリーン版画基礎(Ⅰ班) (1~8週)	2	石川 昌	グラフィックデザイナー、 アートディレクター	シルクスクリーンの基礎技術、素材、特に紙の特性や印刷の質感に対する感性を養成する。さらに版画技法を理解し制作に応用・発展する力を身につける。
12		ブランディングデザイン演習	2	孔 鎮烈	デザイナー(パッケージ)	パッケージの基本機能から役割にいたるプロセスを学習し、様々な形態で制作された実例を通じて良さと問題点など様々な視点から分析する。その上、分析結果に基づいた新たなパッケージデザインの提案を行う。
13		Web Design基礎	2	斐 鎮爽	IT企業勤務(研究員)	Webユーザーインタフェースを想定した画面デザインの提案を課題とし、基本的な制作ツール(Dreamweaver)の使い方やサイト制作のプロセスなど、Webサイト制作の基礎を学ぶ。
14		静物素描演習(教職課程)	2	鈴木 司	美術科教員(中学・高校)	素描の制作過程を認知科学の立場から学び、実技指導に活かせる技術を身につける。段階別の問題点と解決方法を学ぶ。各種指導(全体、個別、実演)方法の特徴と、参考作品の活用について学ぶ。
15		着色画演習(教職課程)	2	鈴木 司	美術科教員(中学・高校)	水性系絵具の基礎技術と制作手順を習得する。各種モチーフ配置方法(サムネイル、実寸下絵カラージュ他)を学び、レイアウトをシミュレーションする。教育現場の実技指導で活用出来る知識と説明技術を身につける。
16		人物画演習(教職課程)	2	鈴木 司	美術科教員(中学・高校)	多様な人物画資料から目的、技法、ポーズ、色彩表現を理解する。ハッチング描画で細密表現の技術習得と写実の効果を確認する。選択自由表現で個人差、材料、サイズ、量を考慮した教材作成や授業計画の基本を修得する。
17		絵画技法演習(教職課程)	2	鈴木 司	美術科教員(中学・高校)	近現代の絵画技法の作例から制作方法を学び、モダンテクニックの作品制作で、表現力の幅を広げる。身近な植物、動物、生き物など美術の授業で扱いやすいモチーフを描く。
18		錯視表現演習(教職課程)	2	鈴木 司	美術科教員(中学・高校)	錯視美術作品を鑑賞と制作する演習授業。教材としての制作方法、手順を修得する。参考作品解説と作品制作を通じ、錯視体験する。
		計	35			